



犬・笑・暮だより vol.97

お花のパワーをワンちゃんにも



みなさんのお家のワンちゃん、不調や困ったクセなど、ちょっと手を焼いていることはありませんか？ 病院やドッグスクールに行くほどではないけれど、ちょっと困ったワンちゃんの悩んで、結構あるものです。今回は、飼い主さんが手軽に行うことのできるケアのひとつとして、「バッチフラワーレメディ」をご紹介します。

バッチフラワーレメディとは

レメディという植物のエネルギーを転写した液体を飲むことで、心の平安を取り戻したり、否定的な感情に対処するための自然療法です。植物のエッセンスを使った自然療法としてアロマセラピーが一般的ですが、体に直接働きかけるアロマセラピーに対して、心に働きかけてゆくのがバッチフラワーレメディです。

歴史

「バッチフラワーレメディ」は、イギリスの細菌学者であり、病理学者、ホメオパシー医でもあったエドワード・バッチ博士が、1936年に完成させた心のバランスを取り戻すための自然療法で、「心のバランスを欠いた状態が病気の原因であり、心のバランスを取り戻すことで健康になる」という考えから生まれました。心や感情のバランスを保つことが、身体の健康へも繋がると考えたバッチ博士が発見したこのシステムは、70年以上もの間、世界中で活用されています。赤ちゃんからお年寄りまで安心して使用することができ、動物や植物にも利用できるとして、現在では60ヶ国以上の国々で使用されています。

レメディができるまで

レメディは38種類+レスキューレメディ（数種類のレメディを調合）を含めて全39種類になります。37種類は花、植物から作られ、1つは岩清水からできています。材料となる花は、最もエネルギーの高まっている早朝に同じ植物の茎や葉を使い、直接手で触れないようにして摘み取ります。摘み採られた花はその場でクリスタルの器に入った天然水に浮かべられ、太陽光のもとに数時間置かれます（太陽光だけでなく煮沸して作る方法もあります）。通常、できあがったレメディには保存のため同量のブランデーが加えられますが、日本ではブランデーの代わりに、植物性グリセリンを保存料として加えています。



エドワード・バッチ博士



バッチ博士の生家



38種類のレメディ

レメディの選び方

バッチフラワーレメディは、「こうなってほしいから」ではなく、「今、この状態だから」という選び方をします。例えば、よく吠えるワンちゃんがいるとします。「吠えないようにする」のではなく、「今、なぜ吠えているのか？」というところに目を向け、性格や吠えている時の状況などを観察してレメディを選んでいきます。

レメディの飲ませ方

食事と一緒にあげたり、おやつに垂らしてあげます。飲み水に入れり、お口の近くや前脚先に垂らして、ペロッと舐めさせても良いでしょう。

<飲ませる量>

与える量は、「1回2滴」を目安に折をみて数滴ずつ与えて下さい。セントバーナードのような大型犬でも、チワワのような小型犬でも量は同じです。飲み水に入れる際には、全部飲むとは限らないので、少し多めに入れてあげましょう。ただし、レスキューレメディは、「1回4滴」です。

トリートメントボトルの作り方

レメディは、直接与えるのが基本的な使い方ですが、しばらく同じものを飲ませたいときや、複数の感情が長く続いているような場合は、トリートメントボトル（処置ボトル）を作ると便利です。

作り方はとっても簡単。遮光瓶にミネラルウォーターを30ml入れ、数種類のレメディを入れておきます。レメディは最高で6〜7種類選ぶことができ、1種類につき2滴ずつ入れます。作ったボトルは冷蔵庫に保管し、3週間以内に使い

レメディは植物の持つエネルギーが転写された、朝つゆのイメージです。ですから、全く副作用もなく無害で、病気を患っている時や、妊娠している時、お薬を飲んでいても使えます。また、レメディの選び方を間違ったとしても、ただ効果が出ないというだけで悪い作用があるということもありませんので、洋服やデザートを選ぶ感覚で楽しく試してみてくださいね。さあ！さっそく心の目で、ワンちゃんを観察しながら、直感でレメディを選んでみましょう♪



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

